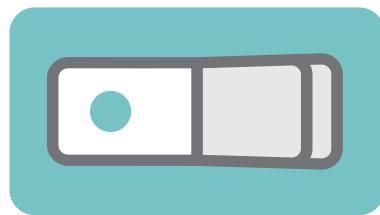
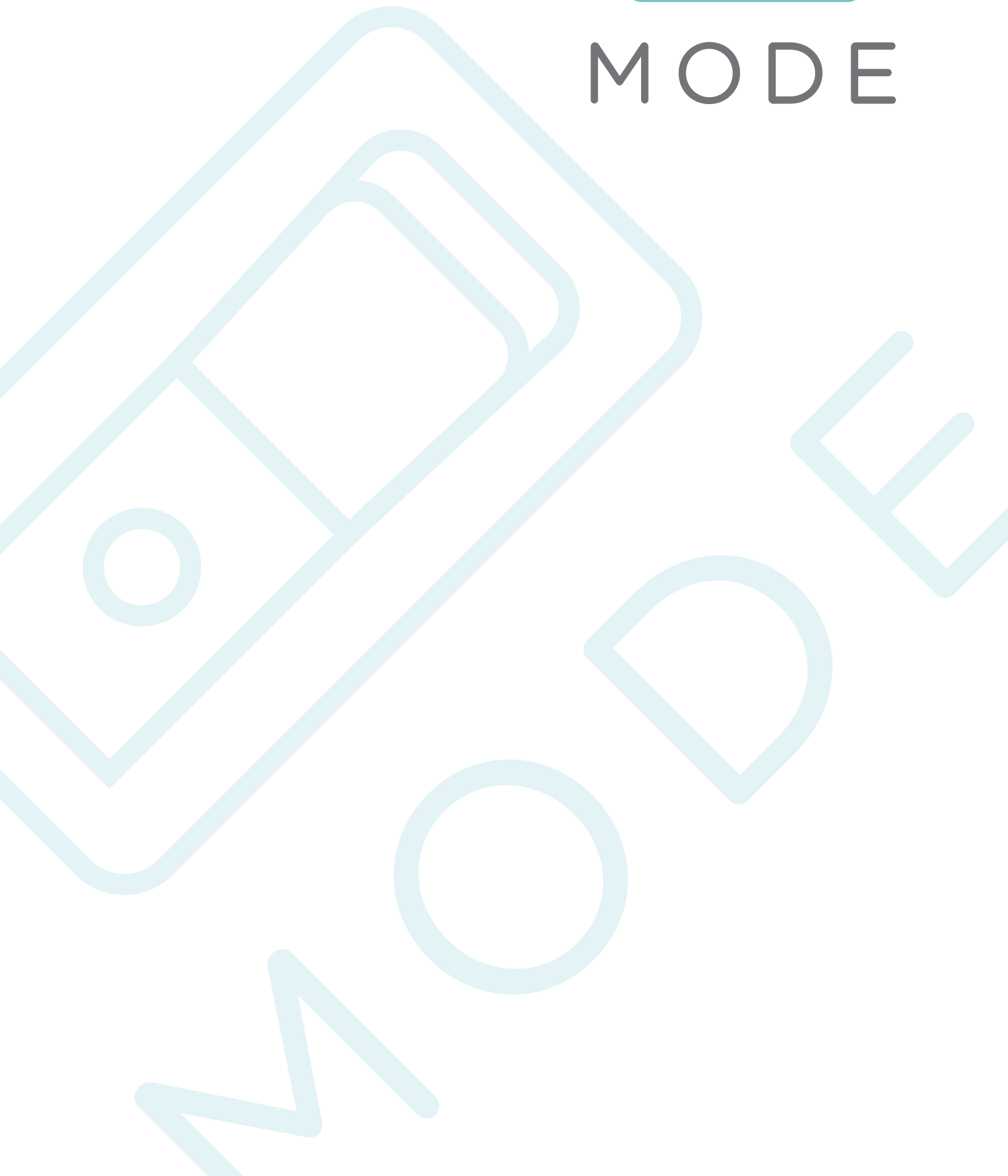


Company Profile

会社概要&事例集



MODE

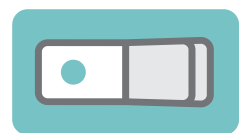


MODE

MODE CHANGE!

私たち MODE は、世界を「モードチェンジ」する。

これまでのあたりまえが、大きく変化していく今、
社会のモードチェンジの一翼を担うのが MODE です。



MODE

さまざまなバックグラウンドから集まった私たち、
クライアントやパートナーと共に
世の中の「unknown」を明らかにし、
データとテクノロジーで世界をモードチェンジしていきます。

CEO メッセージ

「データの活用で、世界から『unknown』をなくしたい」

GoogleやTwitterでは、プロダクトから得られる膨大なデータを活用し、今までわからなかった「unknown」をデータから導き出すことで、今世界で何が起きているのか、人々はどんな情報を求めているのか、という疑問に答えてきました。

IoTにより身のまわりのあらゆるものが繋がった世界が実現するということは、インターネット革命以上のインパクトがある変革だと直感しています。人に加えてモノも情報を発信していく時代を実現していきたい。私たちが住む現実の世界のビジネスはまだ「unknown」なことばかりです。ビジネス活動における「unknown」をなくせば、ビジネスの世界にも大きな革新が起こると信じています。

CEO/Co-Founder 上田 学 (うえだ がく)

早稲田大学大学院卒業後、渡米。2003年からGoogle 2人目の日本人エンジニアとしてGoogle Mapsの開発に携わる。その後、当時まだスタートアップだったTwitterに移り、公式アカウント認証機能や非常時の支援機能などのチーム立ち上げ、開発チームのマネジメントを経験。

2014年、Yahoo!出身の共同創業者のイーサン・カンとともに、シリコンバレーを拠点に、IoT (Internet of Things) のためのクラウド・プラットフォームを開発するMODEを設立。



データ収集のその先へ！

IoT の面倒なことは MODE におまかせ！

MODE ではお客様のビジネスの IoT 化を実現させるため、用途に応じたパッケージソリューションをご提供しています。さまざまなセンサーのデータをクラウドに収集するための IoT ゲートウェイ、センサー特化時系列データベースを備えたプラットフォーム、データ活用のためのユーザーインターフェースをオール・イン・ワンのパッケージソリューションとして提供しています。現場データの活用を目的とした IoT 技術の導入において、短時間で現場に設置、データの収集を始めることができます。既存生産機器の IoT 化やクラウドプラットフォームの監視・運用業務を含め、IoT の面倒な部分をまるごとカバーしたサービスです。

MODE IoT ソリューションの特徴

特徴 1 クラウドパッケージソリューションだからすぐに利用可能

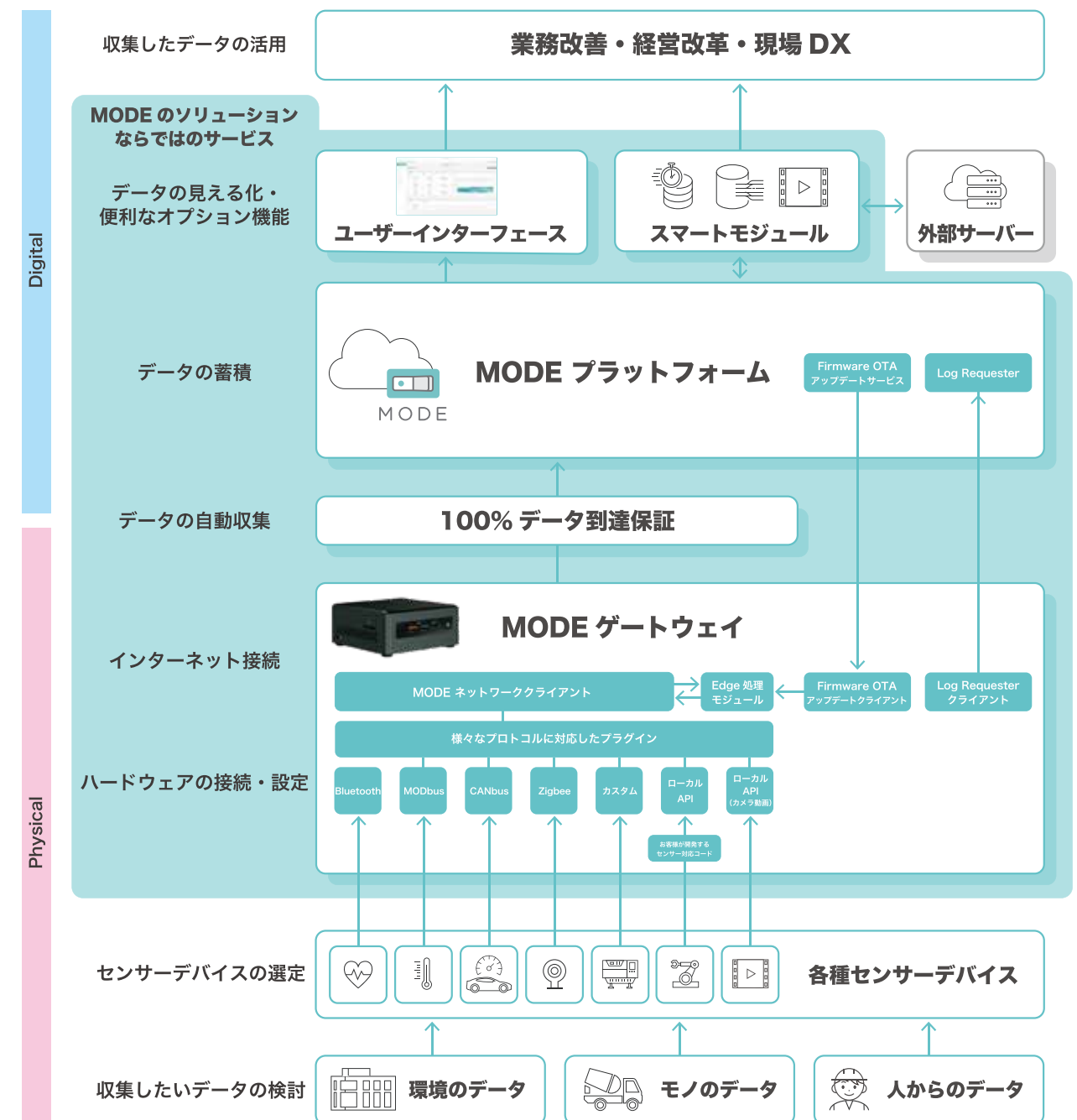
企業が利用する IoT システムをカスタム開発すると長い開発期間と多額の費用がかかります。MODE IoT ソリューションはカスタマイズ可能なパッケージソリューションで、基本の利用形態であれば、ハードウェアの設置、クラウド契約だけですぐに利用を開始できます。高いカスタマイズ性で、自社特有のユースケースに対応したり、連携 API を活用して外部システムとの連携も可能です。

特徴 2 全てのデータは1つのプラットフォームに集約

IoT ツールの活用を進めていくと、現場ごと・センサーごとに別々のデータベースにデータが貯まったり、異なるアプリケーションで確認したりと、サイロ化による業務の煩雑化という課題が生まれます。MODE IoT ソリューションなら、機器・車両・環境・作業員など異なるデータを統合して集め、管理することができます。

特徴 3 取得データはリアルタイム&リモートで確認可能

これまでは、現場でのデータ収集が難しかったり、人力によるデータの収集が中心でした。MODE IoT ソリューションは、現場にあるセンサーやデバイスなどから収集されるデータを、自動でクラウドにアップロードします。クラウド環境に格納されたデータはリアルタイムに更新され、離れた場所からも簡単に確認できます。収集したデータに異常を検知した際にはメールなどでアラートを受け取ることもできます。



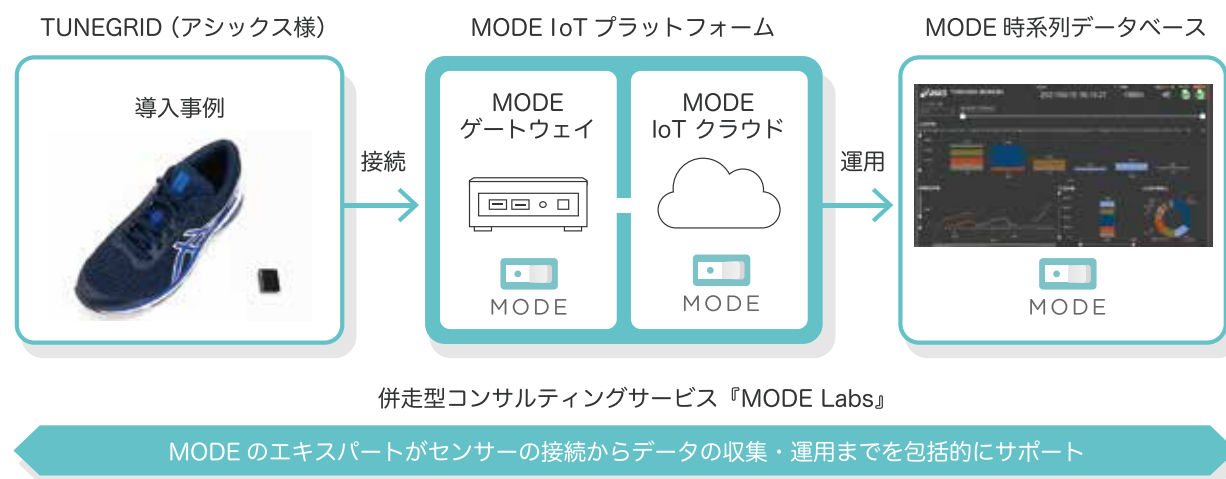
MODE の導入事例

■ アシックス株式会社様

IoT データが取れるだけじゃ無い。
フィードフォワード(未来に向けた解決策)を想定していたのは MODE だけでした。

導入事例：TUNEGRID

スポーツデータ総合システム「TUNEGRID(チューングリッド)」はスポーツ競技や運動の記録を、簡単に記録・分析できるシステム。シューズにセンサを内蔵し IoT 化することで、都市マネジメントや人員の最適化、災害時の避難、スポーツにおける試合戦略など、様々なデータ活用の可能性を秘めています。



課題

- ・IT のことが分からないため、IT 企業へ要件を出すことができなかった。
- ・将来的にはビッグデータの活用を想定しているため、安定してデータ収集できるインフラが必要。
- ・IoT 業者を比較検討する上で、他社では「IoT データを取れますよ」としか提案がなかった。

解決

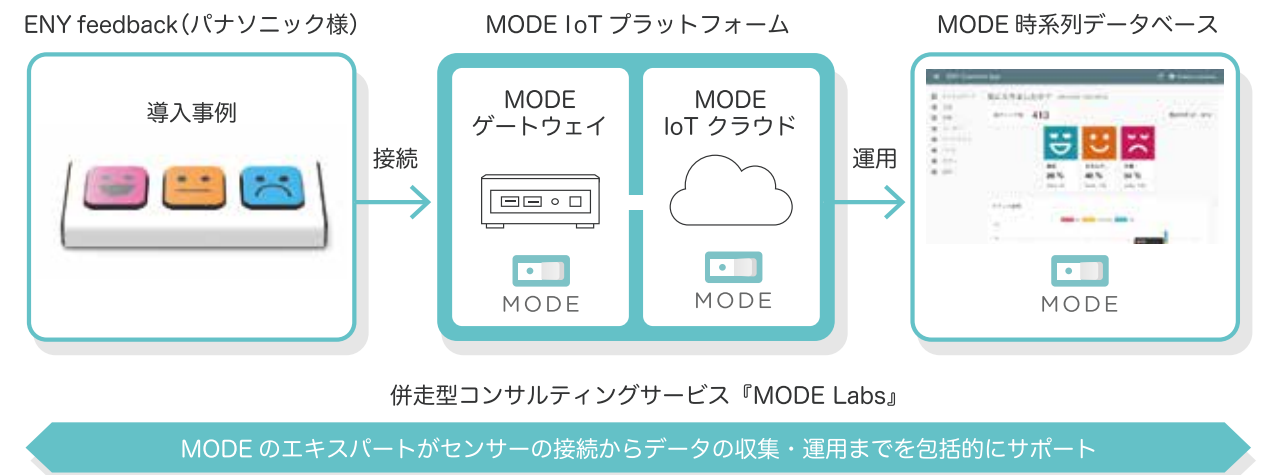
- ・IoT プラットフォームの他、デバイス・センサーからクラウドアプリケーションまで包括的にカバー(=MODE Labs)
 - ・24時間365日絶えずデータ収集するIoTシステムに特化したデータベース(=時系列データベース)
 - ・過去の知見からデータを活用し、スポーツでの戦略や事故防止のための情報をフィードフォワードできると提案(=MODE コンサルティング)
- ※()内は MODE が提供する技術&サービス名。

■ パナソニック株式会社様

業務委託ではなくパートナーとしての技術会社が必要だった。
経験豊富なエンジニアによるサポートのもと、One team として仕事ができる。

導入事例：ENY feedback

「リアルいいねボタン」の ENY feedback は電池レスの無線スイッチで、商業施設などに設置し、商品やサービスに対する顧客のリクエストや満足度といったデータを集計できるデバイス。デジタルマーケティングと違い、現実世界から得られたフィードバックデータを確実にクラウドへ上げ、収集したデータを分析し、クライアントが活用できる情報として加工することが求められます。



課題

- ・ハードウェア中心の事業からIoTやAIを使った事業へとビジネスモデルを変革する中で、IoTを活用したビジネスの作り方が分からなかった。
- ・以前のソリューションはデータをクラウドまで上げる所がスムーズでなく、データがきちんと届いたが、ゲートウェイが動いていたかの確認がなく「届いてなかったデータ」の有無が分からなかった。
- ・以前のソリューションは、お客様へデータ提供できるツールが非常に限られていた。

解決

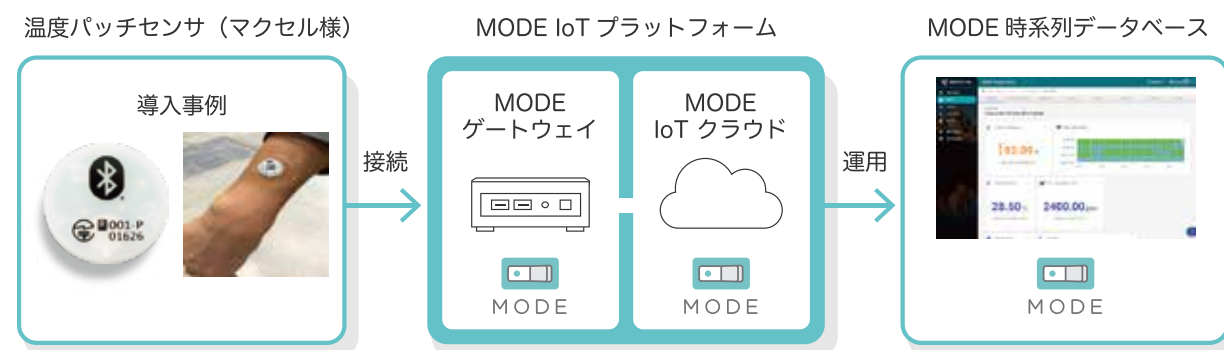
- ・受託ではなく伴走型のパートナーとして ENY feedback の IoT 部分をサポート(=MODE Labs)
 - ・通信が不安定な環境でもデータをクラウドへ確実に送り届けることが可能(=データの到達保証)
 - ・データ活用方法はMODEのアプリケーションに限らないため、パナソニック独自のUIに繋げる。顧客のビジネスモデルに応じた展開が可能(=MODE IoT プラットフォーム)
- ※()内は MODE が提供する技術&サービス名。

■ マクセル株式会社様

IoTシステムで一番面倒な部分を MODE が黒子になって対応してくれた。データが見えるようになったことで、デバイスの価値を向上させることができた。

導入事例：温度パッチセンサ (TM2101-SR)

体に貼るだけで体表温度の推移を連続して計測できる 10 円玉大の超軽量センサーです。袋から取り出して体やモノに貼り付ければすぐに計測が開始されます。クラウドを通してリアルタイムにモニタリングできるので、点だけの計測だけでは分からなかった様々な情報が得られます。健康管理だけではなく、異常の早期発見、調査研究、遠隔見守りにも役立てていただけます。



併走型コンサルティングサービス『MODE Labs』

MODE のエキスパートがセンサーの接続からデータの収集・運用までを包括的にサポート

課題

- ・センサーデバイスでの価値提供を考えたときに、その先にあるデータ活用という面でマクセル社の評価システムだけでは PoC 試験はできない状態だった。
- ・せっかく得られたデータもクラウド上で一元化できておらず測定結果をリアルタイムで反映できなかった。

解決

- ・IoTシステムを構築するうえで、一番面倒で価値が出しにくいゲートウェイ、クラウド、データベースの部分を MODE が黒子として対応してくれた。
- ・打合せを進めていくうちに、センサーの価値を最大化するようなビジネススキームまで一緒になって検討してもらい、その伴走スタイルに大いに感動した。
- ・時系列監視機能やヒートマップで、直近データの解析ができるようになり、1日での体表温度推移の変化がひと目で分かるようになった。

■ 株式会社マクニカ アルティマカンパニー様

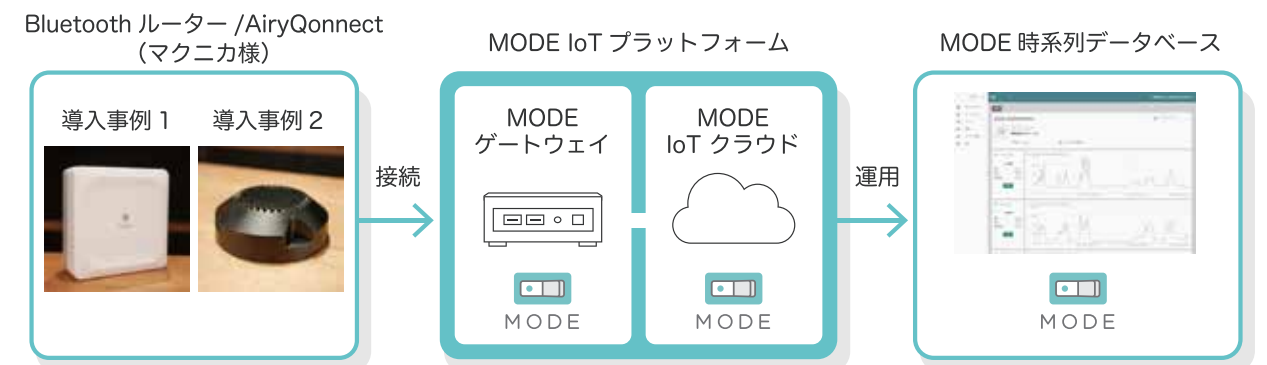
API 連携して他の機能と繋げられるプラットフォームは非常に魅力的。お客さまにクラウドを含めてワンストップでご提案できるようになりました。

導入事例 1：Cassia Networks 社 Bluetooth ルーター

IoT 分野における BLE 活用の課題を解決し、長距離伝送、複数端末接続、リモート接続（エッジコンピューティング機能の拡張による）を実現します。

導入事例 2：AiryQconnect

BLE 通信式デバイスで、燃焼ガス検知による早期火災検知が行えます。



併走型コンサルティングサービス『MODE Labs』

MODE のエキスパートがセンサーの接続からデータの収集・運用までを包括的にサポート

課題

- ・取扱い製品と Cassia Networks 社の BLE ルーターを組み合わせる提案していく過程で、IoT クラウドプラットフォームの必要性が高まっていた。
- ・自社で全てを用意するより、専門とする企業とパートナーリングした方がスピーディに提供できると考えていた。
- ・ルーターをクラウドベンダーのシステムの中に新たに導入するにあたって、動作確認まで対応してくれるところが見つからなかった。

解決

- ・様々なデバイスを繋げることを想定して作られている MODE のソリューションは、自社の思想に非常に近かった。
- ・他のプラットフォームベンダーでは主にスマホ連携を前提としたものがほとんどで、BLE ルーターを経由してクラウドに繋ぐという話がスムーズにできたのは MODE だけだった。

■ コマニー株式会社様

ITの知識がなくても描いたIoTモデルを実現することができました。

「パーティション (間仕切り)」で快適空間・機能空間を創造するメーカー・コマニー社では、居心地の良いワークスペース「PiCCOT」に、景色が変わる窓のようなパーティションを採用しました。人によって働きたい環境が異なるため、その人に合った空間を提供するため、心拍数や体動、自律神経のバランスをセンサーから情報収集し、その人にあった窓の景色が変えられる製品です。



■ 株式会社デルタツーリング様

難しかったスタンドアローンのハードウェアからのデータ収集が可能に！

「スリープバスター」は、人の心臓の情報を音として捉える計測装置です。元々スタンドアローンで運用していたため、外部機器への出力に苦戦しましたがMODEさんと取り組んだことで、あれだけ苦労したクラウド連携があっという間に実現しました。また、ハードウェアの改造は全くしておらず、ファームウェアの改造だけでクラウドとの連携対応できた点も非常に効率的な開発でした。



■ ACALL 株式会社様

データ収集を一足飛びに実現。自身のビジネスに集中できました。

「WorkstyleOS」は多様な働き方に対してクラウド上に必要なインフラを整備するサービスです。IoTの知識は多少あったものの、開発リソースはなく、MODEさんに包括的にサポートしてもらいました。例えばセンサーでデータを収集する場合、郵送されたセンサーを設営するだけでデータが取れて、見やすいインターフェイスまで付属。我々は自身のビジネスに集中できる点は大きいです。



会社について

- 会社名 MODE, Inc.
- 代表者 CEO / Co-Founder 上田 学
- ウェブサイト <https://www.tinkermode.jp/>
- 設立 2014年7月
- 事業内容 センサープラットフォーム及び関連ソフトウェアサービスの提供
- 主な投資家 グローバル・ブレイン株式会社、True Ventures、Compound KLEINER PERKINS、富士通クラウドテクノロジーズ株式会社

- サンフランシスコ (SFO) オフィス
カリフォルニア州 サンマテオ市
ゲートウェイドライブ 1840
スイート 250



- 東京 (TYO) オフィス
東京都中央区日本橋富沢町9番4号
THE E.A.S.T. 日本橋富沢町 301



MODE のソリューション

経営・全社横断向けソリューション

■ MODE BizStack

貴社ビジネスのデジタルツインを実現

- ①多拠点の作業現場を一元管理することができる
- ②現場のデータをリアルタイムで収集することができる
- ③収集したデータを KPI 化して「ビジネスの健康状態」が分かる



現場向けソリューション

■ MODE Sensor Cloud

センサーデータをクラウドに収集して価値に転換

さまざまなデバイスやセンサーからデータを収集。リアルタイムでのデータ取得とクラウドへの保存を同時に行います。収集したデータを AI に活用したり Web アプリケーションにてリアルタイムでの監視が可能です。



■ MODE Factory Cloud

稼働率向上・予知保全・コスト削減・省エネを実現

生産現場におけるオペレーションはラーニングデータの宝庫です。既存で取得しているデータを蓄積し、活用できるフォーマットで保存します。

A screenshot of the MODE Factory Cloud dashboard. It features a large data table with multiple columns and rows, likely representing production metrics, alongside some summary statistics and charts.

■ MODE Mobility Cloud

車両からのデータを安全運転 KPI として活用

さまざまなデバイスやセンサーからデータを収集。リアルタイムでのデータ取得とクラウドへの保存を同時に行います。収集したデータを AI に活用したり Web アプリケーションにて安全運転 KPI として活用します。



■ MODE Robot Cloud

ロボットの開発・運用を圧倒的に簡単に

MODE のセンサーデータ収集技術を集約したサービスロボット向けのフレキシブルで強固なクラウド基盤です。ロボットを開発・運用するために必要不可欠なコンポーネントを提供します。



お問い合わせ先

MODE, Inc. (モード インク) 東京オフィス

info-jp@tinkermode.com